

COMMUNICATION LETTER

博物館だより

2016.3 第 21 号
新潟市北区郷土博物館

〒950-3322
新潟市北区嘉山3452番地
TEL 025-386-1081
FAX 025-388-6290



特色ある区づくり事業(地域再発見事業) 「新潟市北区の勤皇の志士 遠藤七郎」映像制作

葛塚の庄屋の家に生まれた遠藤七郎(1839~1892)は、勤皇の志士として各地を遊歴した後、1868(慶応4)年の北越戊辰戦争では地域の農民たちを組織して北辰隊を結成、隊長となり、会津軍と戦った人物です。戦後の越後・佐渡で政治を行った長州藩の前原一誠や奥平謙輔からの信頼も厚く、奥平からは会津から逃れてきた少年(後の東京帝国大学総長 山川健次郎ら)を託され、自邸でかくまったこともあります。また「甘雨」「睡虎」という雅号で、多くの書画作品も残しています。

平成27年度特色ある区づくり事業(地域再発見事業)により、勤皇の志士 遠藤七郎を紹介するDVDを作成しました(新潟テレビ21に委託)。4月より当館で映像を公開しますので、常設展示室「北区の明治維新」の資料とあわせてご覧ください。



「阿賀北の大地と人々の暮らし」 常設展示をリニューアルしました

常設展示のテーマを「阿賀北の大地と人々の暮らし」として展示替えし、2015年5月に暫定オープンしました。

北区は、新潟市北地区と旧豊栄市等により構成されています。新潟市域では唯一阿賀野川右岸にあり、江戸時代には共に新発田藩や水原代官所の支配を受けてきました。また、1954(昭和29)年に北地区が新潟市と合併するまで、この地域は、北蒲原郡西部郷と呼ばれ、地域的に1つのまとまりと認識されていました。半世紀以上、それぞれの道を歩みましたが、2005年に平成の大合併、

2007年に政令指定都市となって区制がスタートし、今また「北区」という新たな歴史を歩み始めています。

北区という共有の大地で、今日を築き上げてきた北区の人々の暮らしを紹介し、新たな時代をきりひろく空間とします。ご観覧のみなさまのご意見を参考にしながら常設展示をさらに充実させ、2016年11月3日、第26回博物館まつりにおいてグランドオープンを予定しています。

新潟市北區郷土博物館長 宮崎 芳春



ホンリョウブネはかつて福島潟周辺で魚を捕るために使用されていた舟です。写真右のホンリョウブネは、当館所蔵のホンリョウブネをもとに2015年に製作しました。



水のめぐみ 福島潟の漁労風景(模型)



水とのたたかい 新田作りの道具



阿賀北のおたち 阿賀北地形模型



大昔の暮らし



くずし字が伝える北区



北区の明治維新



新潟県三大小作争議 木崎村小作争議



越後随一の陶磁器 太丘焼



映像コーナー 2016年4月より「新潟市北區の勤皇の志士 遠藤七郎」も公開します。

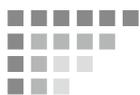


「郷土の芸術家」コーナーを特設し、「書家 弦巻松蔭の世界」の展示を行っています。

特色ある区づくり事業(常設展リニューアル等) 平成28年度事業計画

- ・常設展示グランドオープン
- ・常設展示ボランティアガイド養成講座
- ・常設展示ガイドブックの刊行
- ・こども博物館の開催
- ・ふるさと歴史文化学習プログラム

*詳細は p.10 に記載



没後20年 弦巻松蔭展



弦巻松蔭は、1906年、北蒲原郡葛塚町大字葛塚(現新潟市北区葛塚)に生まれ、5歳頃から父耕治の手ほどきで習字を始めました。書家として生きる決意を固めた松蔭は、1936年、書芸術論を説く上田桑鳩に学ぶため単身上京し、9年間修業を重ねます。戦後は、郷里で精力的に創作活動を展開しつつ、私塾や高校での指導を通して、書の普及に努めました。

当館では、豊栄市博物館時代に寄贈を受けた松蔭作品の常設展示を1998年から2014年まで継続してきました。本年は、松蔭の没後20年にあたり、その生と書業を回顧する企画展を、2期にわたり開催しました。

I 模索と創作の軌跡

1期展は、「書家 弦巻松蔭」をテーマとし、修業時代から晩年までの作品21点と、師桑鳩の作品9点を展示することで、書家松蔭の道程を回顧するものでした。松蔭は在京中に桑鳩の下で徹底的に臨書に取り組み、全国展へ出品を重ねます。

戦後、桑鳩の同志や門下の多くが前衛書に取り組む

ようになり、松蔭はそれらの動向を目の当たりにしますが、漢字による表現に主眼を置き、文字とその意味内容が一体化した書きぶりを追求していきます。それは、師の思想に傾倒しつつも最新の表現志向にとらわれず、ひたすら自己の書を模索する、真摯な闘いの道でした。



展示会場



(上田桑鳩コーナー)

II 松蔭とふるさと・新潟一師弟のすがた

2期展は、「師 弦巻松蔭」「ふるさと新潟における松蔭」をテーマとしました。松蔭は、師桑鳩の「自由な創造」という芸術の精神が郷里に根付くことを願い、教え子たちに技術を指導する以上に、創造の意味、そしてその厳しさと喜びを教えようとしたのです。

展示会では、松蔭作品11点と師桑鳩の作品1点、松蔭の教え子13人の作品22点を三部構成で展示し、

松蔭が新潟にもたらしたのを見つめるとともに、松蔭の芸術観をも浮き彫りにしようと試みました。

展示会出品作家

弦巻松蔭、上田桑鳩、
(教え子/五十音順)伊集院草香、今井寸松、小黒五稜、小谷帯雨、川口夢墨、小池松雨、佐藤奎玉、眞田景風、菅井慶城、弦巻紅雨、永井素香、増田紅楓、宮田玲花



展示会場



1 企画展

(1) 没後20年弦巻松蔭展I —模索と創作の軌跡—

6/6~7/5

弦巻松蔭(1906-1995)の没後20年にあたって開催した第1期回顧展。松蔭の書に多大な影響を与えた師上田桑鳩の作品も併せて展示し、桑鳩に学んだ修業時代から、自身の書の確立を目指した書家への創作の軌跡を展観。

入館者 803人

○講演会「弦巻松蔭一人と書一」

講師：野中吟雪氏(新潟大学名誉教授・岐阜女子大学大学院教授・書家)

6/21 参加者 49人

○展示鑑賞ガイド

講師：伊豆名皓美(当館嘱託職員(書))

6/28 参加者 14人

神田直子(当館学芸員)

7/5 参加者 24人

(2) 第32回菱湖会書展 7/10~7/20

共催事業(主催：菱湖会・新潟市北区郷土博物館)新潟市北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループ展。会員21人の作品33点を発表。

入館者 511人

(3) 第18回松蔭賞書道展 8/1~8/30

対象：新潟市内の小学3年生~中学生

郷土出身の書家弦巻松蔭にちなんで開催。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催した。入賞作品238点を展示。

入館者 1,039人

○参加校

- ・北区内 … 小学校13校 ・中学校7校
- ・新潟市の北区外 … 小学校1校 ・中学校4校
- ・書道教室 … 6校
- ・その他 … 個人出品

○出品点数(点)

小3	448	中1	348
小4	494	中2	218
小5	482	中3	113
小6	469	教室・個人	107
合計	2,679		

- 入賞者数 ・松蔭賞 7人(各学年1人)
- 238名 ・優秀賞 21人(各学年3人)
- ・特選 70人(各学年10人)
- ・佳作 140人(各学年20人)



弦巻松蔭展I 講演会(講師：野中吟雪氏)ホール(展示会場)にて



弦巻松蔭展I 展示鑑賞ガイド(7/5)



第32回菱湖会書展



松蔭賞書道展 表彰式 館長挨拶

○松蔭賞受賞者

- 【小3の部】米山 結 (豊栄南小学校)
- 【小4の部】寒河江ひかり (松浜小学校)
- 【小5の部】城野 愛音 (早通南書道教室)
- 【小6の部】庄司 琉叶 (赤塚小学校(個人))
- 【中1の部】高橋 憂花 (つくし書道教室)
- 【中2の部】市川 真 (五十嵐中学校)
- 【中3の部】樋口明日香 (葛塚中学校)

(4)第9回新潟市北区こども科学展

9/12 ~ 9/27

対象：北区内の小・中学生

夏休みに、子どもたちが取り組んだ創意工夫に富んだ作品を発表・展示した。最優秀賞2人、優秀賞12人を選出。

入館者 1,072人

○参加校 北区内の小学校12校・中学校1校

○出品点数(出品者数) …190点(190人)

- 【模型の部】 … 87点(87人)
- 【標本の部】 … 20点(20人)
- 【発明工夫の部】 … 37点(37人)
- 【自然科学写真の部】 … 46点(46人)

○最優秀賞受賞者(2人)

- 【模型の部】 星野 渚(葛塚東小5年)
- 【自然科学写真の部】 村山 果凛(松浜小5年)

○優秀賞受賞者(12人)

- 【模型の部】 佐藤 瑠星(木崎小1年)
- 本田 侑(葛塚東小2年)
- 木間ひかり(笹山小3年)
- 室井 幹太(木崎小5年)
- 瀧澤 帆南(葛塚小6年)
- 【標本の部】 北村 拓途(太夫浜小4年)
- 小川健太郎(葛塚小5年)
- 小早川珠穂(岡方第一小6年)
- 【発明工夫の部】 栗原 ゆい(葛塚東小1年)
- 【自然科学写真の部】 丸山 日奈(早通南小3年)
- 廣瀬 花音(松浜小5年)
- 青木 亨介(葛塚東小5年)

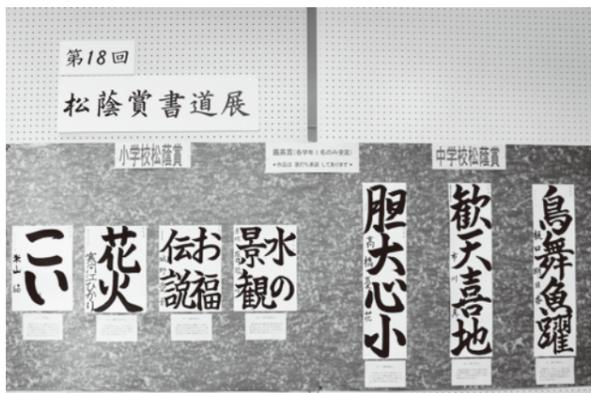
(5)没後20年 弦巻松蔭展Ⅱ

松蔭とふるさと・新潟一師弟のすがた

11/21 ~ H28.1/11

弦巻松蔭(1906-1995)の書世界を回顧する第2期展。松蔭の芸術観―書とはなにか―を、師上田桑鳩の思想を受け継いだ松蔭と、教え子たちの学書と制作の実践を通して浮き彫りにする試みを行った。

入館者 1,043人



第18回松蔭賞書道展 松蔭賞受賞作品



松蔭賞書道展 表彰式 審査講評(審査員代表：小黑五稜氏)



第9回新潟市北区こども科学展 審査会



第9回新潟市北区こども科学展

○展覧会鑑賞ガイド

- 講師：伊豆名皓美(当館嘱託職員(書)) 12/20 参加者 20人
- 神田直子(当館学芸員) 1/10 参加者 43人

(6)第9回新潟市北区ジュニア絵画展

H28.2/13 ~ 2/28

対象：北区内の小・中学生

ふるさとの自然・生活をテーマに描いた作品を募集。660点の応募のうち、入賞作118点を展示した。

入館者 612人

○参加校 北区内の小学校12校・中学校2校

○出品点数(点)

小1・2年生の部	186	小5・6年生の部	244
小3・4年生の部	203	中学生の部	27
合計	660		

○大賞受賞者(各部門1人)

- 【1・2年生の部】 安達 恵大(岡方第一小2年)
- 【3・4年生の部】 田村ひなた(笹山小4年)
- 【5・6年生の部】 原 伊吹(早通南小6年)
- 【中学生の部】 該当なし

2 講座・教室など

(1)手織り体験教室

7/25・8/1

対象：中学生以下

かつて葛塚でさかんに生産されていた木綿織物「葛塚縞」についてや、葛塚縞手織りの会の活動を紹介するとともに、会場の横井の丘ふるさと資料館(分館)の展示等も広く紹介。

講師：葛塚縞手織りの会

7/25 参加者 6人

8/1 参加者 6人

(2)博物館学芸員課程履習の実習生受け入れ

・新潟大学(教育学部2人、人文学部1人)

8/29 ~ 9/5

(3)中学校職場体験学習の受け入れ

・光晴中学校(2年生4人)

7/7 ~ 7/10

(4)常設展改装記念講演会

10/25

演題「北区の大地―その地下を探る―」

講師：鴨井幸彦氏

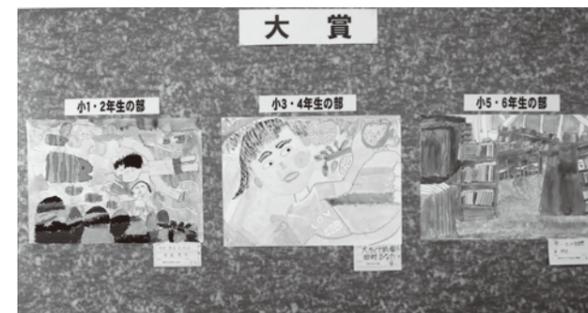
(株式会社村尾技建 技術長・理学博士)

会場：ホール

参加者 45人



弦巻松蔭展Ⅱ 展覧会鑑賞ガイド(12/20)



第9回新潟市北区ジュニア絵画展 大賞受賞作品



ジュニア絵画展 表彰式 審査講評(審査員代表：本間公司氏)



手織り体験教室

(5) 第25回博物館まつり

11/2・3

対象：一般市民
見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーの設置や、郷土芸能発表会を通して伝統文化を学ぶ。
参加者延べ 775人

- 催し物
 - ・チャリティー骨董市 (11/1～11/3)
(主催：チャリティー骨董市実行委員会)
 - ・実演・体験・チャレンジコーナー(11/2～11/3)
(消しゴムハンコ作り、竹トンボ作り、ワラなべしき作り、葛塚縞機織り実演・体験)
 - ・超大筆パフォーマンス (11/3)
揮毫：小黒五稜氏(書家)
 - ・昔ばなしを楽しもう (11/3)
お話：小さなろうそくの会
 - ・郷土芸能発表会 (11/3)
- 実演・体験コーナー協力者及び団体(敬称略)
会田華瑠那、伊藤喜代子、大野智世、倉島百合子、佐藤則子、三條萌恵、月岡徳恵、成澤清子、橋本弘、早川ミハル、葛塚縞手織りの会、菱湖会
- 郷土芸能発表会出演団体(出演順)
 - ・松浜太鼓保存会
 - ・内島見神楽保存会
 - ・正尺神楽保存会
 - ・新崎甚句保存会
 - ・豊栄郷土民謡保存会
 - ・新崎伊佐弥神楽保存会
 - ・長場神楽保存会
 - ・松浜盆踊り太鼓保存会
 - ・高森神楽保存会



第25回博物館まつり 超大筆パフォーマンス (小黒五稜氏)



こどもたちによる 超大筆パフォーマンス



竹トンボ作り



昔ばなしを楽しもう (お話：小さなろうそくの会)



ワラなべしき作り



(6) ハンコで遊ぼう!

12/6

石印材に名前や干支などを彫りオリジナル作品を制作。

講師：伊豆名皓美(当館嘱託職員(書))
会場：葛塚コミュニティセンター

参加者 13人

(7) ふるさと学習

学校教育や地域づくりなどと連携し、博物館資料の紹介や展示見学の利用を図る。

- 講師：宮崎芳春(当館館長)
 - ・岡方中学校1年生 7/8 15人 (常設展示室)
- 講師：曾部珠世(当館嘱託職員(歴史))
 - ・木崎小学校3年生 12/17 60人 (常設展示室)
 - ・太田小学校3年生 H28.3/1 10人 (常設展示室)
 - ・葛塚小学校3年生 12/3 115人 (横井の丘ふるさと資料館)

(8) 講師派遣

- 講座「郷土の歴史一本が語る郷土史シリーズ」
 - 主催：とよさか中高年教養大学
 - ・『まなびやに託されたメッセージ』 7/21
講師：神田直子(当館学芸員)
会場：葛塚コミュニティセンター
 - ・『太丘焼』 8/18
講師：宮崎芳春(当館館長)
会場：当館常設展示室
- 講演会「内島見観音堂・仁王堂について」 H28.3/9
主催：内島見自治会
講師：宮崎芳春(当館館長)
会場：内島見公民館

3 北区文化財保護事業

(1) 歴史・民俗資料 整理事業

未整理資料の整理・調査。展示等の活用をめざす。

- 歴史資料(古文書)整理 24日
 - ・内沼・佐藤家文書再整理(枝番取り等) 2765-18～3112-7番(2003点)
 - ・長場・長場家文書再整理(枝番取り等) 1～315(359点)
 - ・北区古文書解読研修会による中性紙封筒入れ替え作業(ボランティア)

○民俗資料整理 延べ7日

(2) 公開・活用

- 文化財説明板の新設1カ所「内沼湯」
- 郷土芸能発表会(再掲) 11/3
博物館まつりにおいて9団体が披露。

(3) 保護事業

- 市指定文化財の民俗資料等のくん蒸 H28.2
横井の丘ふるさと資料館に展示中の民俗資料や新収蔵資料等のくん蒸を行った。

4 横井の丘ふるさと資料館管理運営事業 通年

旧横井小学校校舎の一部を利用し、北区の水との闘い、木崎村小作争議、昭和30年頃の暮らし等について展示。

【日常管理】木崎保育園
【開館時間】月～土曜日の9:00～16:30

5 郷土資料収蔵庫整理事業 通年

- 郷土資料収蔵庫に移動した民俗資料の整理・配架。
- 今年度は横井の丘ふるさと資料館の資料等の清掃・くん蒸も実施。資料の移動及び清掃はシルバー人材センターへ委託(H28.1/28～3/9延べ14日、38人)など。



ハンコで遊ぼう!



ふるさと学習(12/7)



とよさか中高年教養大学主催による講座 (8/18)



第25回博物館まつり 郷土芸能発表会 高森の神楽

平成28年度事業計画

1 企画展・常設展拡大企画

(1) 常設展・拡大企画コーナー

「新潟市北区の勤皇の志士 遠藤七郎」 5/28～7/3

平成 27 年度制作の映像の公開及び関連する史料や書画作品の展示を通して、勤皇の志士 遠藤七郎を紹介する。

(2) 第33回菱湖会書展 7/9～7/18

共催事業(主催：菱湖会・新潟市北区郷土博物館)
北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループ作品展。

(3) 第19回松蔭賞書道展 7/30～8/28

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催する公募書道展。入賞作品 238 点を展示。
対象：新潟市内の小学校 3 年～中学生
作品募集締切：7/8

(4) 第10回新潟市北区子ども科学展

9/17～9/25
子どもたちが夏休みに取り組んだ、創意と工夫に富んだ作品を発表・展示。

対象：区内内の小・中学生

出品部門：模型・発明工夫・標本・自然科学写真

(5) 常設展・拡大企画コーナー「昭和の暮らし」

11/12～12/18

今では使われなくなった道具から昭和の北区の様子を紹介。

(6) 第10回新潟市北区ジュニア絵画展

H29.1/4～1/22

ふるさとの自然や生活を描いた作品を募集し、展示。
対象：区内内の小・中学生

(7) 書の革新者・上田桑鳩展—新潟に伝えた書の芸術精神—新潟市北区郷土博物館所蔵品を中心に

2/11～3/12

弦巻松蔭とその弟子たちに多大な影響を与えた上田桑鳩の革新的な芸術思想と書世界を、所蔵品と新潟に残された作品を通して展望する。

2 講座・教室ほか

(1) 常設展示ボランティアガイド養成講座

11 月 3 日から開始を予定しているボランティアガイドの養成のための講座。

(2) こども博物館

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。 6月から 月 1 回程度
対象：小学 4 年生～中学生

(3) 手織り体験教室 7月・8月各1回

講師：葛塚縞手織りの会

会場：横井の丘ふるさと資料館

対象：小・中学生

(4) 博物館学芸員課程履習の実習生受け入れ

8 月～ 9 月

(5) 第26回博物館まつり 11/2・3

チャリティー骨董市、手織・ワラ細工体験、郷土芸能発表会、常設展示グランドオープン、ボランティアガイド開始など。

(6) ハンコで遊ぼう！ 12/3

石印材に名前や干支などを彫りオリジナル作品を制作。
対象：小学校 4 年生以上

(7) 横井の丘ふるさと資料館管理運営 通年

- ・ふるさと学習や地域づくりなどでの利用を図る。
- ・登録文化財申請協議
- ・耐震補強協議・環境整備

(8) 郷土資料収蔵庫の管理運営 通年

- ・環境整備・虫の侵入防止・空調管理
- ・民俗資料整理作業（台帳化、くん蒸、配架）
- ・地盤沈下監視・補修工事協議

(9) 学校・研究者など情報提供 通年

(10) 常設展示ガイドブックの刊行

(11) 『北区のお宝ものがたり』・展覧会図録など刊行物の販売 通年

3 北区文化財保護事業

○調査

- ・歴史・民俗・写真資料など整理作業

○公開・活用

- ・文化財等説明板修理

○保護育成

- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」保護等

平成27年度入館状況

月 別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館入館者数(人)	主 な 行 事
4月	379	17	
5月	446	18	常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」暫定オープン5/2
6月	674	26	没後20年 弦巻松蔭展 I－模索と創作の軌跡－6/6～7/5
7月	888	28	没後20年 弦巻松蔭展 I－模索と創作の軌跡－6/6～7/5 (803人) 第32回菱湖会書展7/10～20 (511人)
8月	1,039	29	第18回松蔭賞書道展8/1～8/30 (1,039人)
9月	1,331	14	第9回新潟市北区子ども科学展9/12～27 (1,072人)
10月	452	37	
11月	1,289	9	チャリティー骨董市11/1～3 第25回博物館まつり11/2・3 (のべ775人) 没後20年 弦巻松蔭展Ⅱ 松蔭とふるさと・新潟一師弟のすがた11/21～1/11
12月	580	118	ハンコで遊ぼう！12/6 (13人) 没後20年 弦巻松蔭展Ⅱ 松蔭とふるさと・新潟一師弟のすがた11/21～1/11
1月	551	0	没後20年 弦巻松蔭展Ⅱ 松蔭とふるさと・新潟一師弟のすがた11/21～1/11 (1,043人)
2月	714	0	第9回新潟市北区ジュニア絵画展2/13～28 (612人)
3月	426	0	
合 計	8,769	296	

12/28～1/4は年末年始のため休館。 横井の丘ふるさと資料館は、資料の清掃及びくん蒸のため1/23～3/31まで臨時休館

寄贈資料紹介

平成27年度、次の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

【弦巻松蔭関係】

今井 信 様 (新発田市) …… 作品「寿」
眞田 亨 様 (北区) …… 作品「高青邱詩『雨中過玉遮山』」
米田 正作様 (北区) …… 表札 1 点
菅井 慶城様 (阿賀野市) …… 手本類

【美術資料】

鈴木 孝榮様 (西蒲区) …… 高野常与志作品「福島潟」

【歴史資料】

小林 温子様 (北区) …… 「註解 日本外史」(昭和 7 年発行) 全 10 冊箱入り、「旧約全書」(1858 年、上海製)全 3 巻
嶋倉 満 様 (北区) …… 古地図 (明治時代) 1 点
米田 正作様 (北区) …… 「誉の家」表札 1 点、海軍看護兵採用証書 1 点
大橋 憲造様 (東区) …… 「新潟国体の歌」レコード 1 点
長谷川文夫様 (北区) …… 「長浦村功労者列伝 第一輯」(昭和 17 年発行)
本田 久夫様 (北区) …… 市村松州編「三世相大雑書」

【民俗資料】

阿部 明 様 (北区) …… 田植えワク (六角形) 1 点
田中 鈴子様 (北区) …… エブリ 2 点、ワラウチギネ 1 点、カゴダイ 1 点
佐藤 毅 様 (北区) …… サシアミ 1 点
渡辺 道弘様 (北区) …… 葉タバコの梱包具など
神田 恭之様 (北区) …… 唐箕 1 点、葉タバコ運搬カゴ 4 点
川西住良公民館様 (北区) …… 卓袱台 1 点
南浜連絡所様 (北区) …… かき氷機 1 点
伊藤 英子様 (北区) …… 船便用トランク 1 点
大橋 憲造様 (東区) …… 長浦村阿部牛乳店の瓶 2 点
成澤 清子様 (北区) …… 産湯わかし
長井 定男様 (北区) …… ミ、オシブネ、虫かご、文箱、買物カゴ、棒はかりなど
泉田 ミワ様 (北区) …… コネバチ、入れ子ヒツ
吉田 タマ様 (北区) …… 棒はかり

【図書】

関 雅之様 (新発田市) …… 関雅之著「ヒスイ大珠の製作と石材についての問題—新潟県の縄文中期の大珠集成とその形態から—」
「北信濃「栗林式土器」の上越地区への流入—学史・栗林式土器の調査史前期—」計 2 冊
加藤 傳一様 (中央区) …… 加藤傳一著「加藤傳一の 70 年」「古稀記念・加藤傳一書集《良寛百句》付・加藤傳一愛蔵印譜 211」、
加藤傳一編「湛江詩情—湛詩日語系第 1 期の学生たち—」など計 7 冊
小黒 忠 様 (北区) …… 島谷弘幸著「東京国立博物館の名品でたどる 書の美」
小柳 啓作様 (北区) …… 杜の蔵編「亀田郷水と土の記憶 水とのたたかいと、土への想い」、
村木薫著「アート 亀田 2015 記録集 記憶・追想・夢 in 亀田 玉垣より」計 2 冊
本間 修一様 (北区) …… 東洋クリエート株式会社編「創造 No.41」
神田 恭之様 (北区) …… 大塚孝良著「最新タバコ栽培法」
関口 忠邦様 (北区) …… 関口忠邦著「新潟県産の天産物方言集」
上松 鉄雄様 (北区) …… 郷土南浜「未来への遺産」継承実行委員会編「郷土南浜 未来への遺産—砂地を拓き海に生きて—」
真水 淳 様 (江南区) …… 「復古記」ほか戊辰戦争及び草莽隊関係図書
渡辺 道弘様 (北区) …… 聖籠山宝積院編「蒲原三十三観音霊場めぐり」
高橋 剛 様 (北区) …… 内沼ものがたり編集部編「内沼ものがたり」
阿部 紀夫様 (北区) …… 日本農民組合新潟県連合会編「農民組合 50 周年記念誌 おもいでの記事」、
後藤清一編「池田徳三郎さんの米寿を祝して」計 2 冊

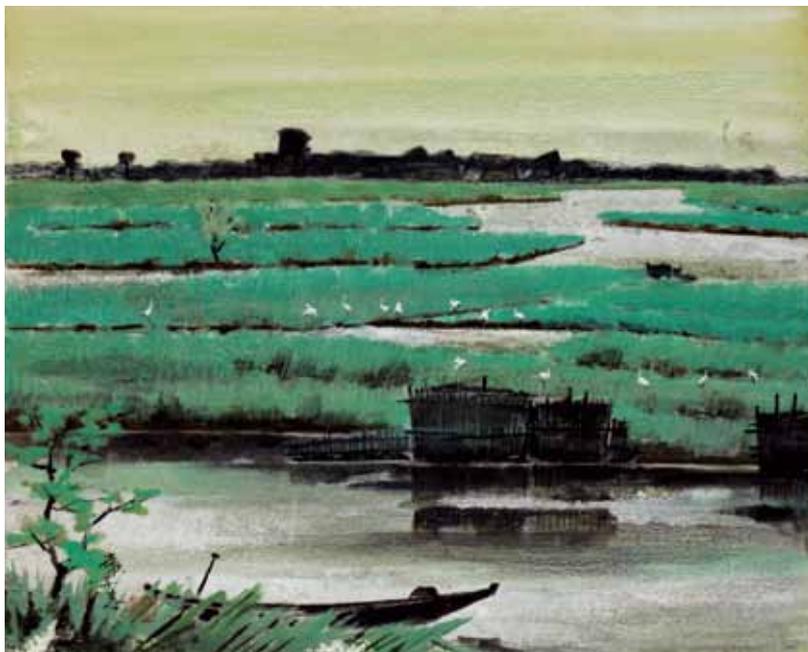
【寄贈のお願い】

当館では、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。

平成27年度 新収蔵美術・書作品紹介

当館では、市民の芸術文化振興を図るため、新潟市北区にゆかりの深い作家の作品を収集・公開しています。今年度は、新潟市内外の所蔵家からの寄贈により、高野常与志の絵画1点と、弦巻松蔭の書作品2点を収蔵しました。

高野常与志(1924—1993、北蒲原郡木崎村（現新潟市北区）生まれ）



高野常与志は、小島丹漾に師事して日本画を学びました。農業のかたわら地域の風景や働く人々を素描する日常のなかで、高野が作品として画面上に描き出したのは、厳しい環境のなかで働き、生を謳歌する実直でたくましい人々の姿でした。

この作品は、高野のもう一つのテーマである自然を描いたものです。簡潔な形態を水平に重ねた構図と、金泥と銀泥を控えめながら使用して画面に招じ入れた光の効果によって、鈍いかがやきを放つ黄昏の水辺の眺望が広がっています。近郊の福島潟のスケッチをもとに描かれていますが、自然への深い共感にみちた高野の心象表現といえましょう。

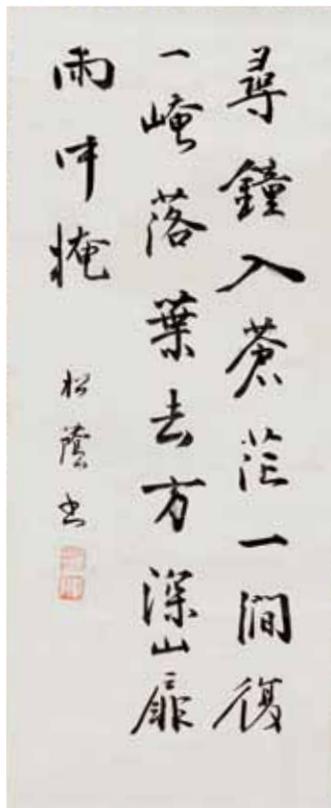
高野常与志
「福島潟」
岩絵具、金泥、銀泥、紙
39.5×48.0cm

弦巻松蔭(1906—1995、北蒲原郡葛塚町（現新潟市北区）生まれ）

1936年から9年間、書芸術論で頭角を現した、在京の上田桑鳩のもとで学書に打ち込んだ弦巻松蔭は、終戦まもない1945年11月に、故郷で個展を開催しました。「雨中過玉遮山」はこの頃の制作で、臨書研究の成果がよく表れた作品です。

師桑鳩は、1952年に、研究会「奎星会」（1940）を「個性と創造性を重視した現代書」の公募団体へと拡大します。研究会の創立同人として展覧会の振興を担うこととなった松蔭は、「手毬会」を特設し、自身の塾生たちの創作・古典研究・鑑賞の場としました。「寿」は、松蔭が創作と教育の意欲に満ちた手毬会創成期の作品です。

1. 高青邱詩「雨中過玉遮山」
1945年頃
38.0×15.5cm
軸装
2. 「寿」
1954年
227.5×132.5cm
軸装
第3回手毬会出品(1954)



1



2